

株式会社京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

お客様のSDGs・ESG取り組みをサポート

「京銀サステナビリティ経営サポート」の
取り組みについて



京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、取引先のSDGs・ESG経営支援サービスのひとつとして、「京銀サステナビリティ経営サポート」を行っております。今般、本サービスを活用したお客様のサステナビリティ経営方針が策定されましたのでお知らせいたします。

なお、本件は「京銀サステナビリティ経営サポート」の第1号案件です。

本サービスは、お客様のSDGs・ESGの取り組みを経営戦略に組み込むことを促進するもので、お客様の経営理念、経営資源のほか、外部環境も踏まえたマテリアリティ（重要課題）を設定し、経営方針策定をサポートします。

当行は、今後も、取引先のSDGs・ESG経営をサポートし、お客様のさらなる発展と持続性のある地域社会の実現を目指してまいります。

記

企業の概要（敬称略）

企業名	ケイコン株式会社
所在地	京都市伏見区淀本町225
代表者	荒川 崇
事業内容	コンクリート製品の設計・施工・製造販売、総合建設業
サステナビリティ 経営方針 【詳細は別紙】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「NET ZERO 2035」の実現 2. 誠実なものづくりと技術革新への挑戦 3. ウェルビーイング経営の実践

以上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。



<ご参考>

名 称	京銀サステナビリティ経営サポート								
対象となるお客さま	法人のお客さま								
内 容	<p>取引先のサステナビリティ経営の軸となるマテリアリティ（重要課題）を特定し、「サステナビリティ経営方針」策定まで支援するサービスです。</p> <p>(1) 策定した「サステナビリティ経営方針」のデータでの提供 策定した方針は、お客様のご希望に応じ、PRサポートの一環として当行ホームページ上でプレスリリースいたします。</p> <p>(2) 取引先のサステナビリティ経営導入・向上の参考となるレポート提供 経営者との対話やアンケート、専用ツールによる分析過程等を踏まえたレポート（報告書）作成し、フィードバックを実施いたします。</p> <p>※ご参考：サステナビリティ経営の展開イメージ</p> <pre> graph LR A[理解] --> B[現状把握] B --> C[経営戦略への組み込み] C --> D[実践] subgraph "本サービスでのサポート" C D end </pre> <p style="text-align: center;">本サービスでの サポート</p> <table border="1"> <tr> <td>理 解</td> <td>現状把握</td> <td>経営戦略への 組み込み</td> <td>実 践</td> </tr> <tr> <td>経営者向け 勉強会</td> <td>SDGs 宣言サポート (21年1月～)</td> <td>サステナビリティ 経営サポート (22年7月～)</td> <td>SDGs 実行サポート (22年10月～)</td> </tr> </table>	理 解	現状把握	経営戦略への 組み込み	実 践	経営者向け 勉強会	SDGs 宣言サポート (21年1月～)	サステナビリティ 経営サポート (22年7月～)	SDGs 実行サポート (22年10月～)
理 解	現状把握	経営戦略への 組み込み	実 践						
経営者向け 勉強会	SDGs 宣言サポート (21年1月～)	サステナビリティ 経営サポート (22年7月～)	SDGs 実行サポート (22年10月～)						
取 扱 店	全店（出張所およびネットダイレクト支店、振込専用支店を除く）								
手 数 料	1, 100, 000円（税込）								

ケイコン株式会社 サステナビリティ経営方針

重要課題

取組方針

数値・SDGs目標

1. 「NET ZERO 2035」の実現	CO ₂ 排出量を削減するコンクリート技術の開発ならびに活用	2035年9月までに温室効果ガス排出量(スコープ1～3)	実質100%削減	12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう
	事業活動における温室効果ガス排出量削減(スコープ1～3)	2024年12月までに 2030年度までに 製造工程における廃棄物	SBT認定取得 50%削減 (2021年度比)	
	脱炭素活動による企業ブランディング			
2. 誠実なものづくりと技術革新への挑戦	製品の長寿命化を通じた環境負荷の低減	2030年度までに コンクリート製品の設計・製造技術を確立	長寿命(100年) コンクリート製品の設計・製造技術を確立	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み継がれるまちづくり 8 働きがいも経済成長も 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう
	製造設備や施工機械などの設備投資による能率化・効率化	2030年度までに 全工場の製造工程における機械化率	15%引き上げ (2021年度比)	
	気候変動による災害に適応した製品の提供を通じた安心・安全なまちづくりへの貢献	2030年度までに コンクリート連続打設工法のICT技術実施率	50%引き上げ (2021年度比)	
		2030年度までに ICT技術を用いた製品自動据付工法の実施率	20%導入	
		2030年度までに 災害に適応した製品売上	150%に引き上げ (2021年度比)	
3. ウェルビーイング経営の実践	働きやすい職場づくり	2030年度までに 休業災害	健康経営優良法人(ライト500)認定取得	3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も 4 高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 10 人や国の不平等をなくそう
	社員の健康増進への取組強化	2030年度までに 奨励資格の新規取得	年間0件	
	相互成長に向けた人財育成の取組強化	2030年度までに 入社後5～10年目における社員の定着率	150件	
	受注機会増加と業務効率化に向けた情報・基幹システム構築	2030年度までに 労働生産性 (1人あたり粗利益)	15%引き上げ (2021年度比)	
			110%に引き上げ (2021年度比)	

持続可能な社会の実現

企業理念

経営理念

全社員の物心満足を追求
社業を通じて社会に貢献

社訓

和合と進歩
努力と発明
至誠と実行

ビジョン

NET ZERO 2035
次世代の人財育成
強固な供給網の確立

経営者メッセージ

建設業界においても労働人口が急減するなか、より一層、工事現場における生産性向上と製品の高性能化・高耐久化を図ることで、未来の社会基盤の形成、ひいては我が国の発展に貢献してまいります。また、脱炭素社会を商機と捉えた持続可能な事業への移行と、継続的な雇用や取引を実現することで、ステークホルダーの期待に応えてまいります。とりわけ当社社員については、事業の成否を握る存在であり、多様な社員の物心両面の満足を追求することで、事業の躍進と経営の安定を図ってまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS